

天に羽ばたくその日まで

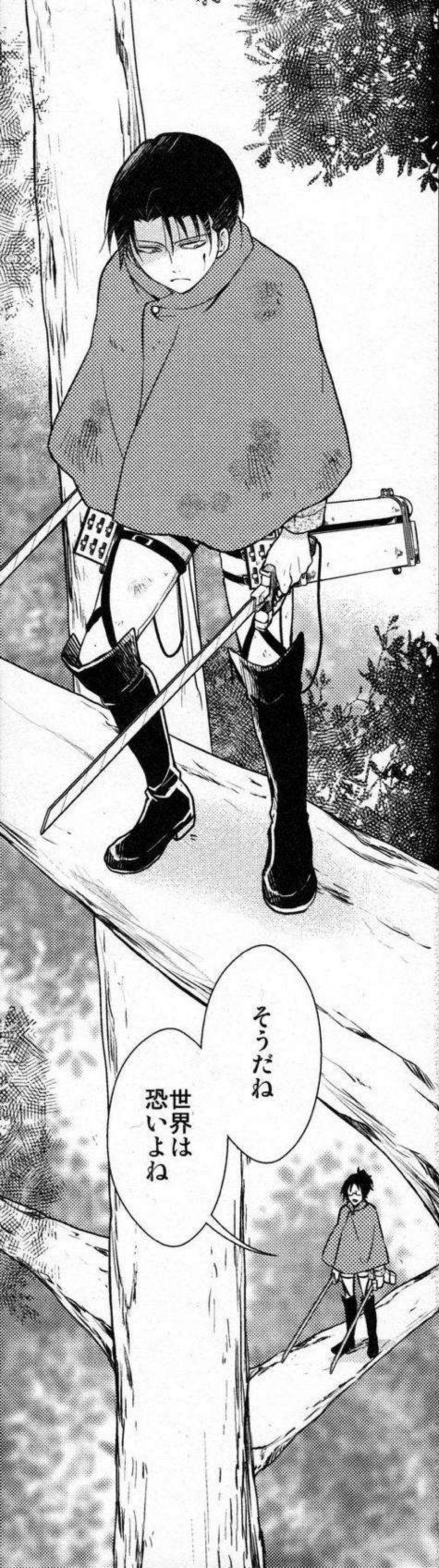
天に羽ばたくその日まで

都^あの地^そ下^こ街^がだ
思^{おも}つていた
最^{さい}悪^{あく}の場^ばだ
と

だ
が……

—
人
が





千切れるのは
初めて見たな

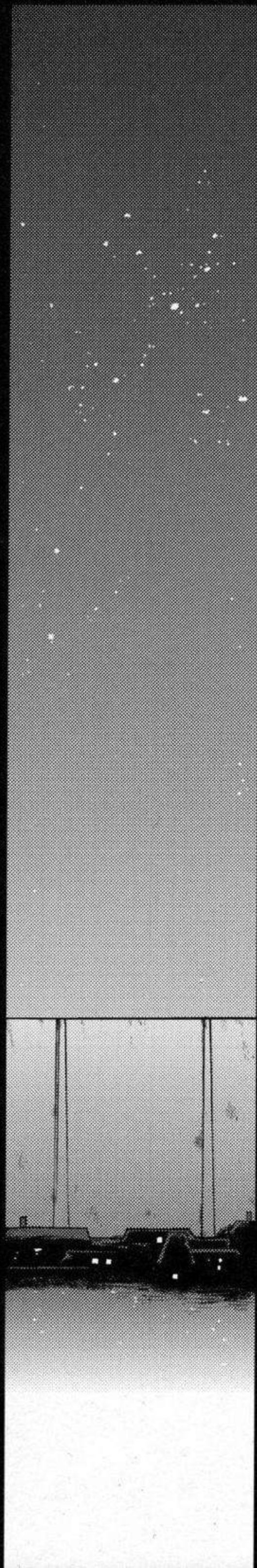
世界は
怖いよね

そうだね



やあ

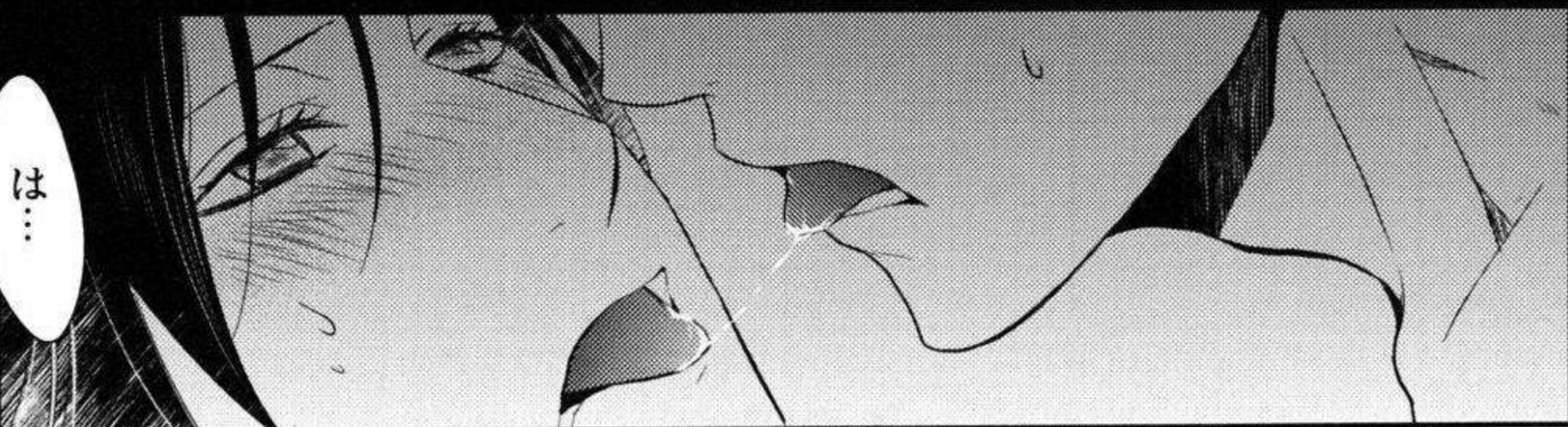
君が噂の
新人だねの



あ誘
いつ
つて
のき
方た
だの
っは
た

ん…

んん…



は…

やあ
こんな夜更けに
資料室に
お籠りかい

——報告書？

助けは
いる？



もう終わった？
——なら
このあと暇だね

私の部屋に
来ないかい



好みの女だった
興味もなかった
訳



だが——



は…あ

えっと
君…
リヴァイ



こいつもいつか
千切れるのなら



結構
ガンガン来るね
——って
名前呼ばれて
どうしてビクッて
するの？

なんでもねえ



なんでもなく
ないでしょ
——んっ



——
久々に名前を
呼ばれた気が
するだけだ

ああ、君
目つき悪いし
経歴も
普通じゃないし

しかも
この間の壁外で
五体も討伐
したんだって？



皆
戸惑ってる
だけだよ

そのうち
慣れるさ

別に
どうでもいい

—そう？



酷いなあ
寂しいけどは

どうみても
女だろ

男みてえな
体だな

腹
えし
固

鍛え
やがる



骨盤の形と
へその位置を
見なよ!!

へそ?

男女差は
他にもいろいろ
あるって話

そんなもん
ついてねえか
だろ



入れるところが
あれば女だ

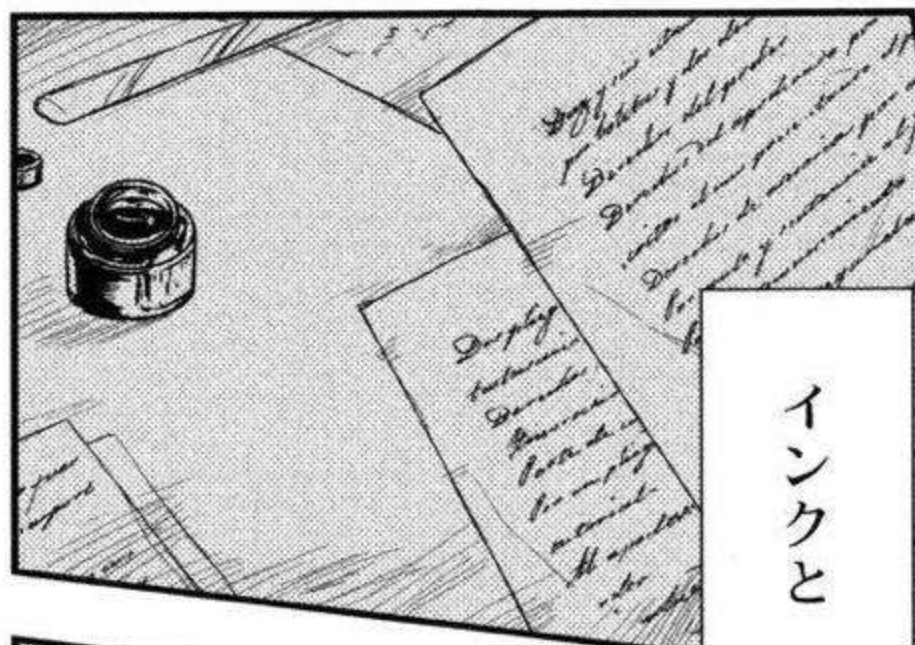
ア
ッ
ッ
ッ

あつ

ツ
ツ
ツ

んっ…





インクと

紙と



匂いのする部屋
のヒールを
のける



あ

ああッ



都の地下街とは
まるで違う





名前で呼べ



え…

あ…
リヴァイ…？



ああっ!!!

誘ったのは
お前だろう

ちよつ
痛い…よ

リヴァイ





ゴッ

はっ...あっ

あ...んっ

ん

ん

ん

ん...

ん...



ぐわん

やつ

ちよつ
だめー

そこはつ

っあつ…

あつ

ああつ

んんんん

んんん



あっ

どお

どお

どお

どお

ひあつ



あ

あ

リヴァイ

どお

どお

は…っあ

どお



リヴァイ…

ん…あ

あ……っ

お笑いぐさだ

こいつの体に　これほど　溺れるとは――

あーもー

ちよつとした
気分転換の
つもりだったのに

やりすぎだよ
君……

溜め過ぎじゃ
ないのかい？



他の奴らみたい
に娼館にでも行っ
て発散しておい
でよ

ホモだとか
不能だとかい
う噂も払拭
できるよ?

あ?

ああいうとこは
嫌いだし
香水臭えし
うさんくせえ

あー解るー
優しすぎてさ
逆に落ち着か
ない

買うのか
てめえ

いや、お酒飲
む方ね
仕事の付き合
いで

そっちなよ

残念なこと
にひねくれ
てるんだ
私



彼女たちが
必死で見せて
くれようとしてる
夢の時間に

素直に
浸れないんだよね



茶しか
ねえな

ああ、食堂の
コーヒーまずいもんね

コーヒー飲むかい？
あ、君は
いつも紅茶だよ



もうすぐ朝だ
ちよつと仮眠して
仕事するよ

仕事？

報告書
まだなんだよ
私



同じ豆だけど
これは朝
挽いたから
まだまだだよ





提出用は
ちゃんと書くさ



——この本
全部読んだのか？



もちろん
増える
ばっかりでさ



——
長いのか
調査兵団は



運のいい
ことだね

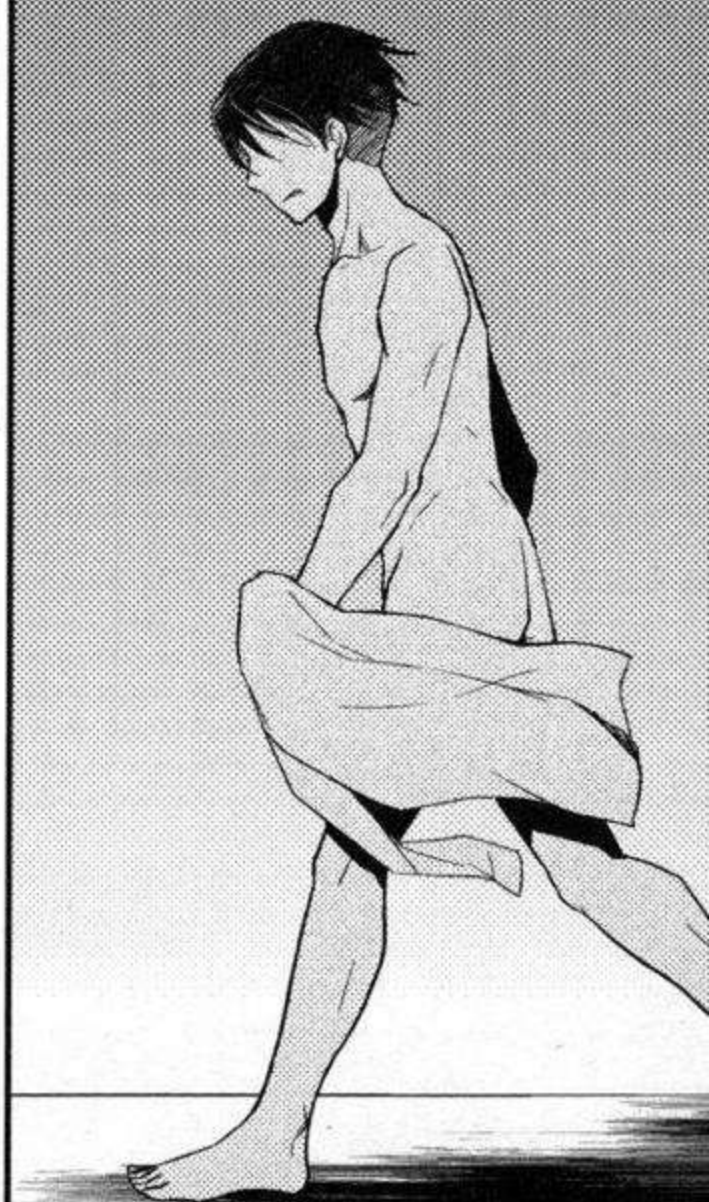


おかしな女泥



何事も
なかつたように
日々は過ぎた

コーヒー
飲む奴他に
いるか？





俺も

私も
いらなーい



俺は
いらん



っていうかさー
そんなまずいもの
人に勧めないでよ

え？
こんなもんじゃ
ねえか？

——まずい

まずい



そっちは
葉っぱだろう

……草か？



私は紅茶
入れよつと

ふふーん

そうだな

俺は
ハーブティー



えーっ
喧嘩始めるんじゃないのー？



—そうだな



どうでも
いいか



すぐ壊れるからな



殴り合い
殴り合い!!!

ちよつと
ハンジ

黙れ

君の本気が
見てみたい!!

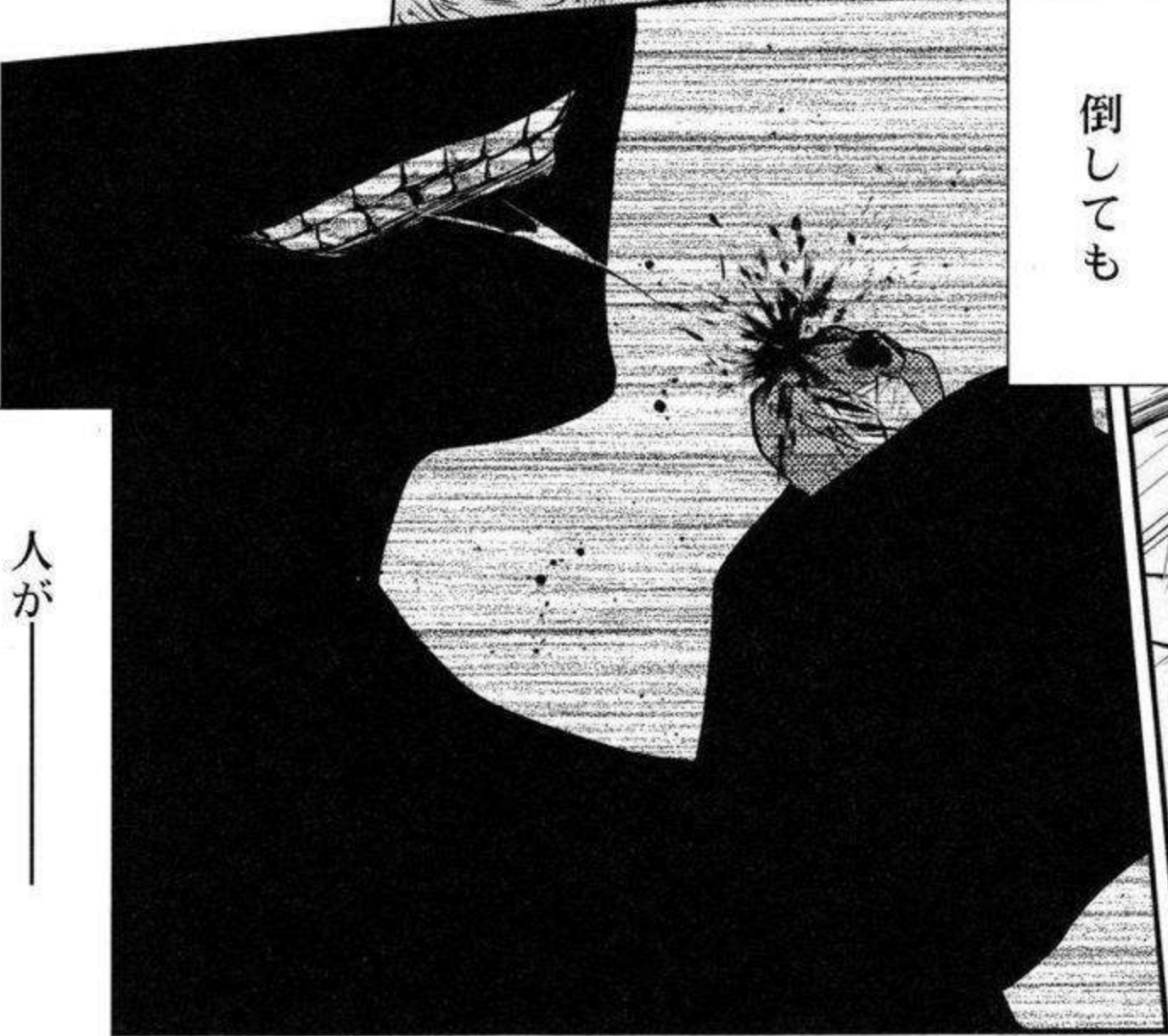
—人間相手は
面倒だ







倒しても



倒しても

人が――



仲間が千切れた





男は狩り、女は家を守る
太古からの役割分担が
体も頭もそれに見合った
進化を遂げているんだ

男は理性で
感情を抑え込める

頭の中が
そうなたって
いるんだよ

わかんねえよ
なんだよ
それ!!

狩りの最中に
感情に流されたら
命に関わる

そういう種は
淘汰されて……
ああ上手く
説明できない
ゴ―グル曇るし



リヴァイを
見なよ

彼はソレが
出来てる

あ、あいつは
まだ調査兵団に
来て日が浅いから



そいつは……

まずい
コーヒーを
俺に勧めて
きた奴だて

……ああ
そんなことも
あったね

——あっちでは
もう少しましな
コーヒーが
飲めるといいが

……
すまん

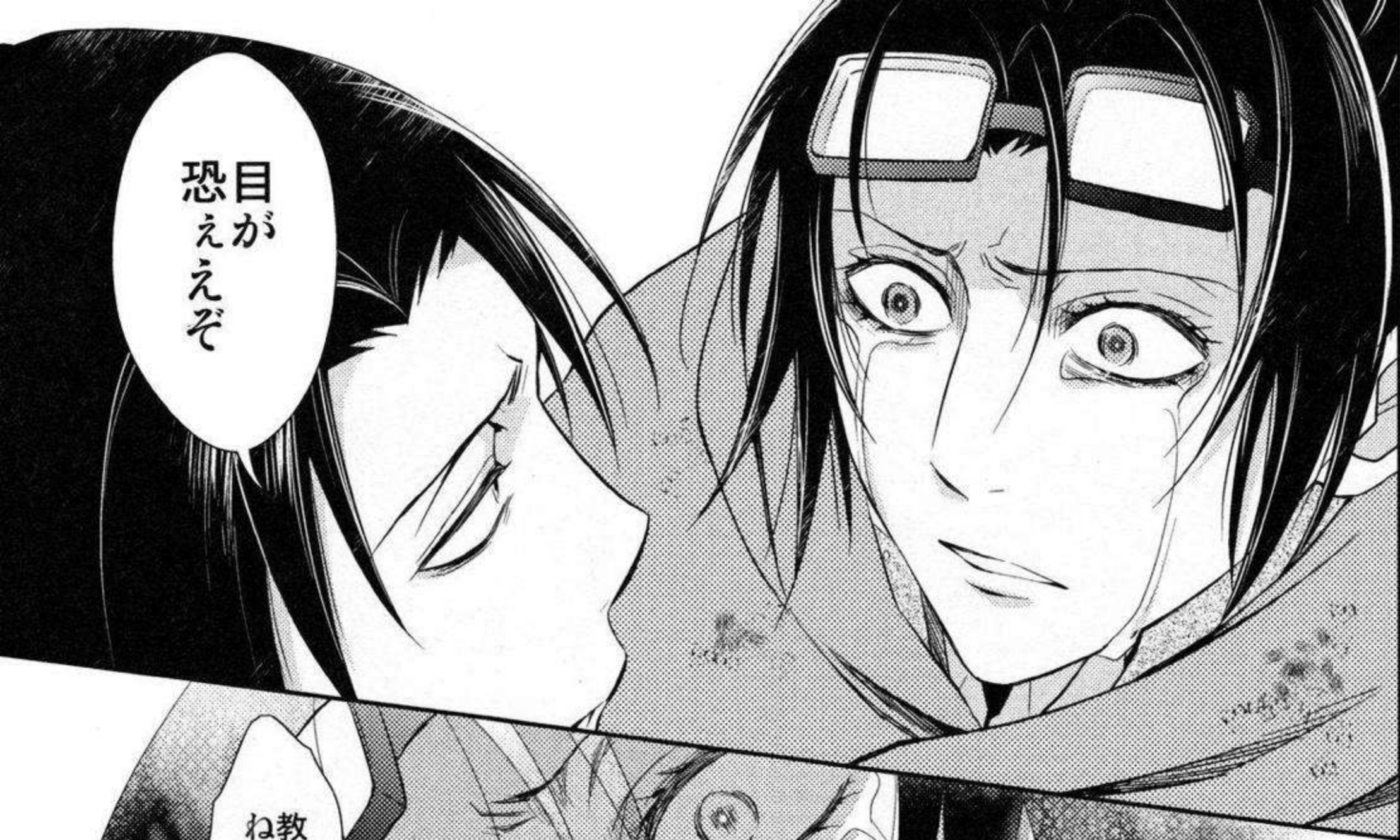
ああもう
涙止まんない
体力奪われるじや
ないか

……お前の話

なんとなく
解る気がする

なに？
どういうこと

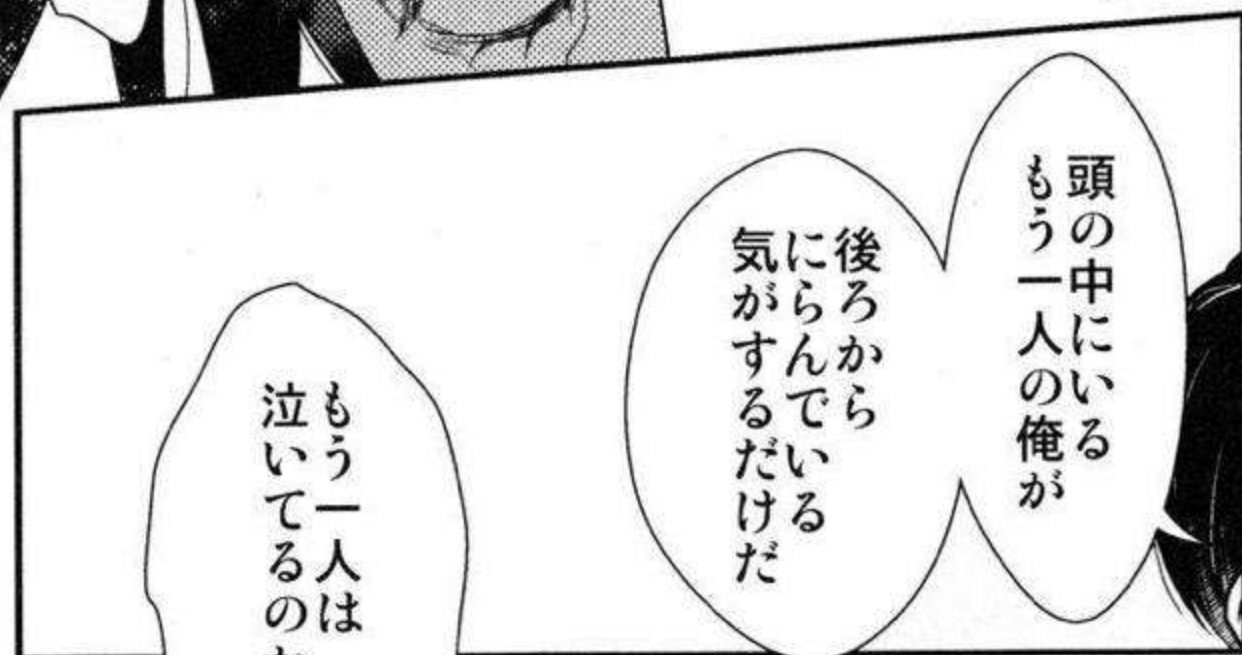
！
お前……



目が
恐えぞ

教えてよ
ねえ

リヴァイ



頭の中にいる
もう一人の俺が

後ろから
にらんでいる
気がするだけだ

もう一人は
泣いてるのかい？



いや
白だけ
ただ俺
を見て
やがる



—





君のアレは
熱くて
とても良かったよ



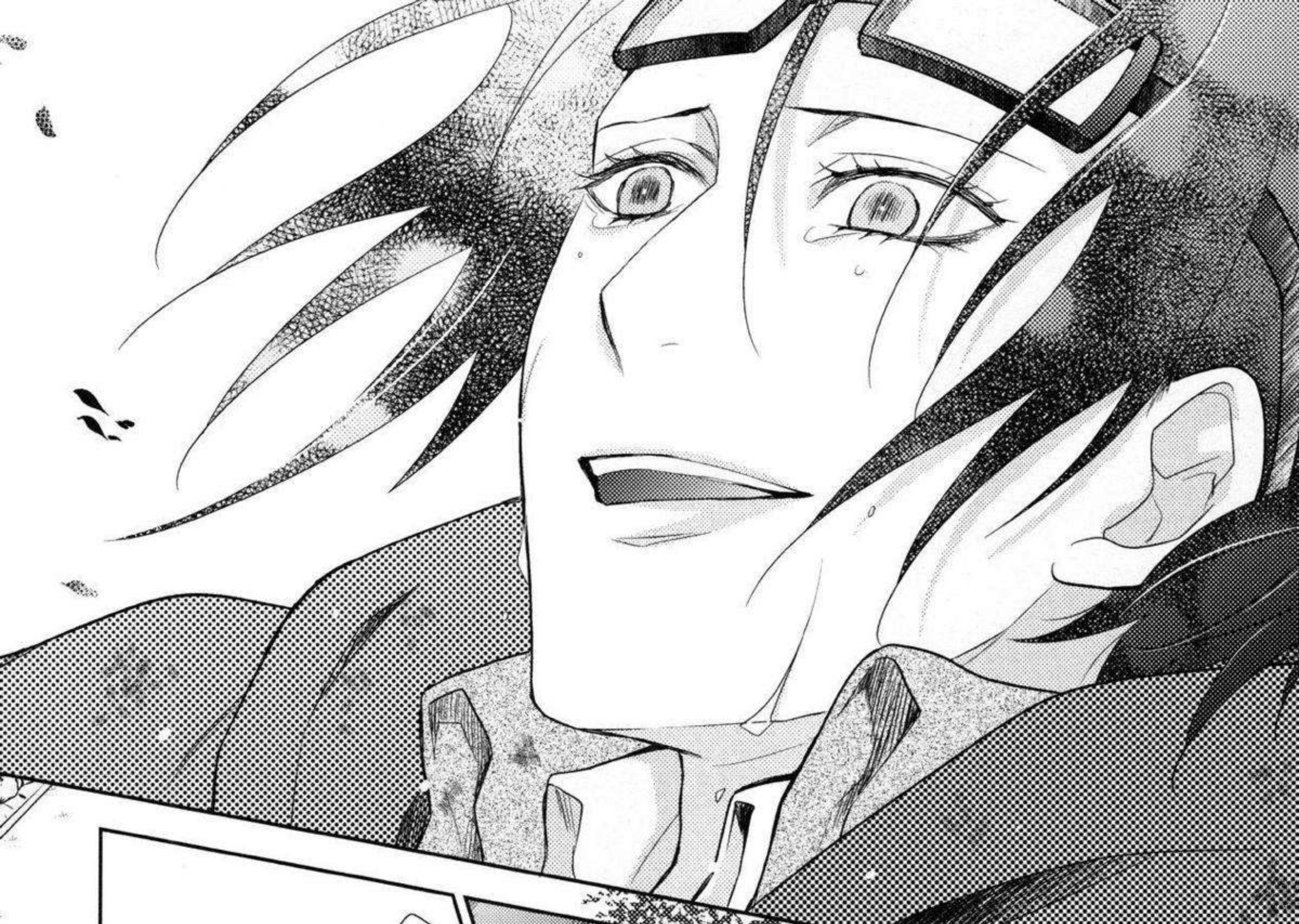
ふふ

ははは



ねえリヴァイ

人は死ぬと
どうしてあんなに
冷たくなつて
しまふんだろうね



…殺さないと

巨人を

もっと

巨人を





そうか

お前は

殺して...

殺し尽くして

千切れる前に 壊れたか

どれだけ
殺せば

いなくなる？

あいつら

巨人は――

アレがないんだ
殺しつくせば

増えないよねえ？



笑ってやがる



さあ
おいでよ

だが目付きは
変わっていない

壁外
またきの
まいか





てめえも
大洪水じゃ
ねーか

はは
気が合うね
リヴァイ

履いてねえし

どうせ脱ぐし
邪魔じゃないか

挿れてよ

前戯なんか
いらないよ

—







コーヒーの
匂い……





目付きが
戻ってやがる





ありがとね
私のわがままに
付き合ってくれて



君的にも
美味しいだろ？
手近に発散できる
相手がいるってさ



それは
てめえのことを
言っているのか

あー
バレた？

そうだよ
エルヴィン出世してから
皆影響されてか
真面目になっちゃってさ

ガードが固くて
断られてばっかり

君が
かいてく
れたけ
ど

でも
困ったな

君は強いから
きつと長生き
するね

私、同時に
複数の男と
関係できるほど
器用じゃないし

まあ今までは
相手が先に
逝っちゃって
終わってたんだけどさ



だから君が
相手をしてくれると
とても助かるんだ



ねえ
リヴァイ



私のこと
いつでも

好きにして
いいからさ



なんでも
してあげる



壁から
戻った後にか



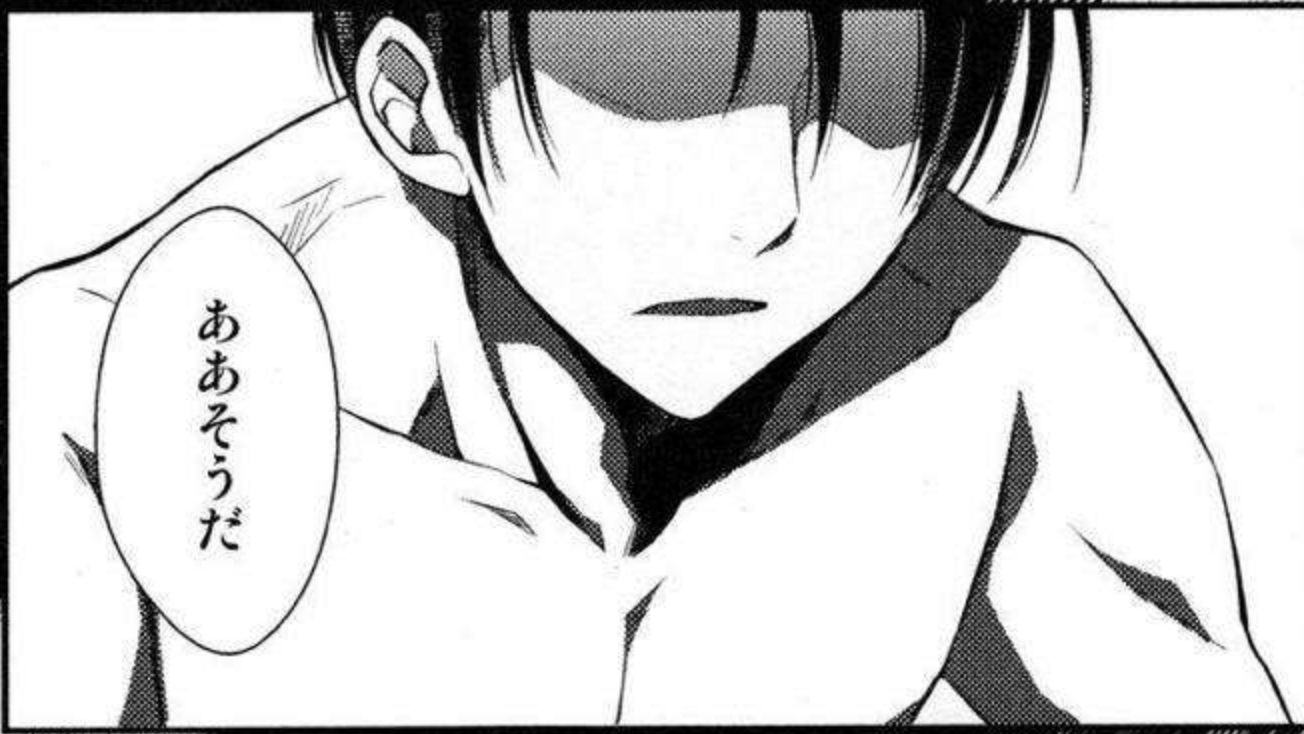
君のものに
なるから



君は…いつ
したい？



壁の外に出る
前日だ



ああそうだ

人が千切れて――



はは

昂るのかい？

粉々になる――



あいつら相手なら

なのに



思いっきり
力を振るえる
からな

本当に君は
かっこいいねえ

私は
かまわないよ?

駄目だ
疲れる

そう…
そうだね

グッ

でも
考えて
おいてよ

さっきの話

私が生きてる
間はさ

……

狂って壊れた女





それでも
死から
目を
背け
ないか



結局

次の
俺は
いつ
抱いたあいつを

その次も



その次も



その次も

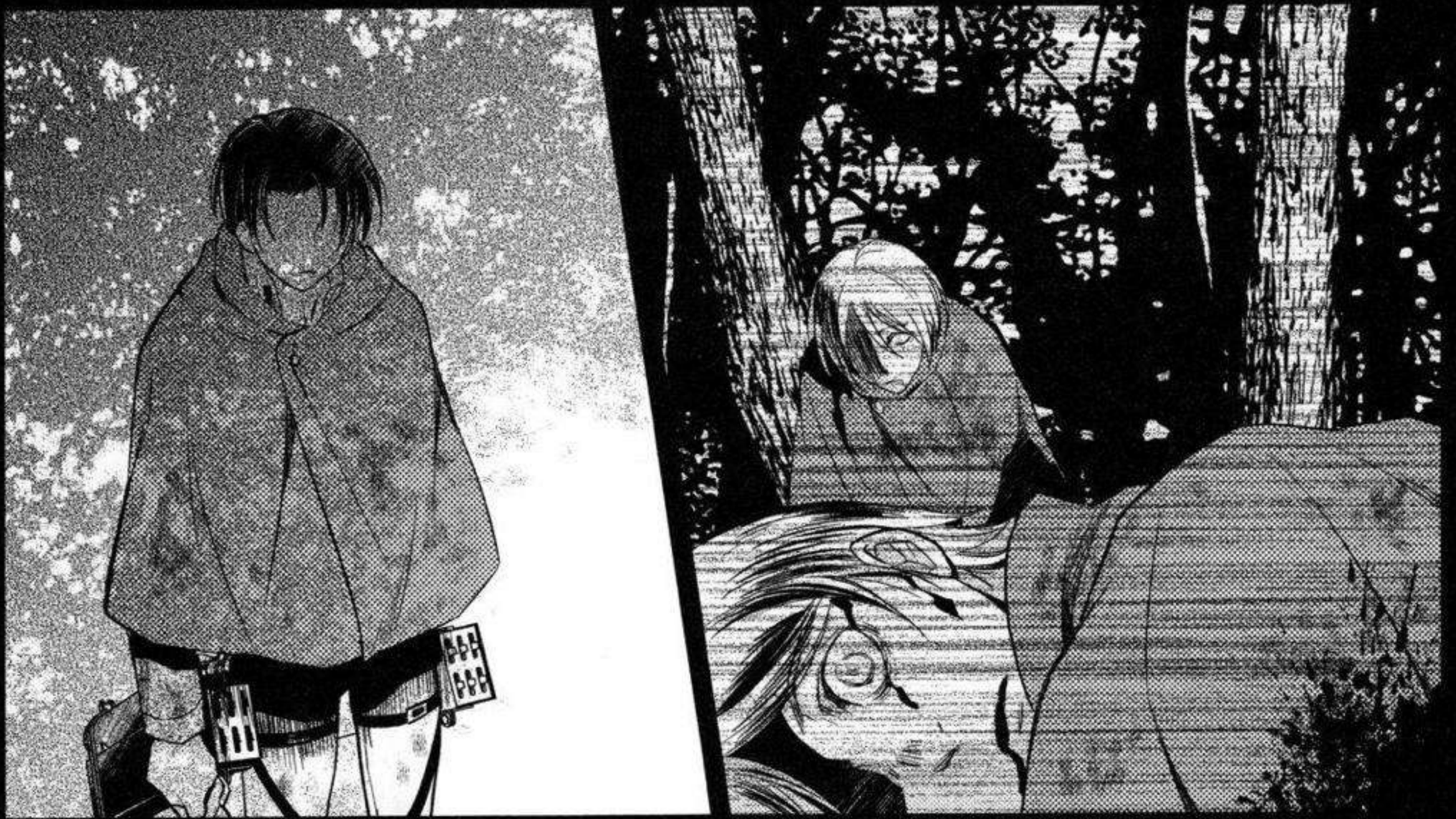




わずかな親愛も



向けられた憧憬も——



すべて千切れて逝った





うああああ

完全に壊れないための





それだけの為の —————







どうした？

着替えても
いない

オイ
てめえ…

軽かった



巨人…

—三メートル級

あ？

頭が

軽くて

オイ!!



脱げ

風呂に入れ

キッ

—脱がすぞ

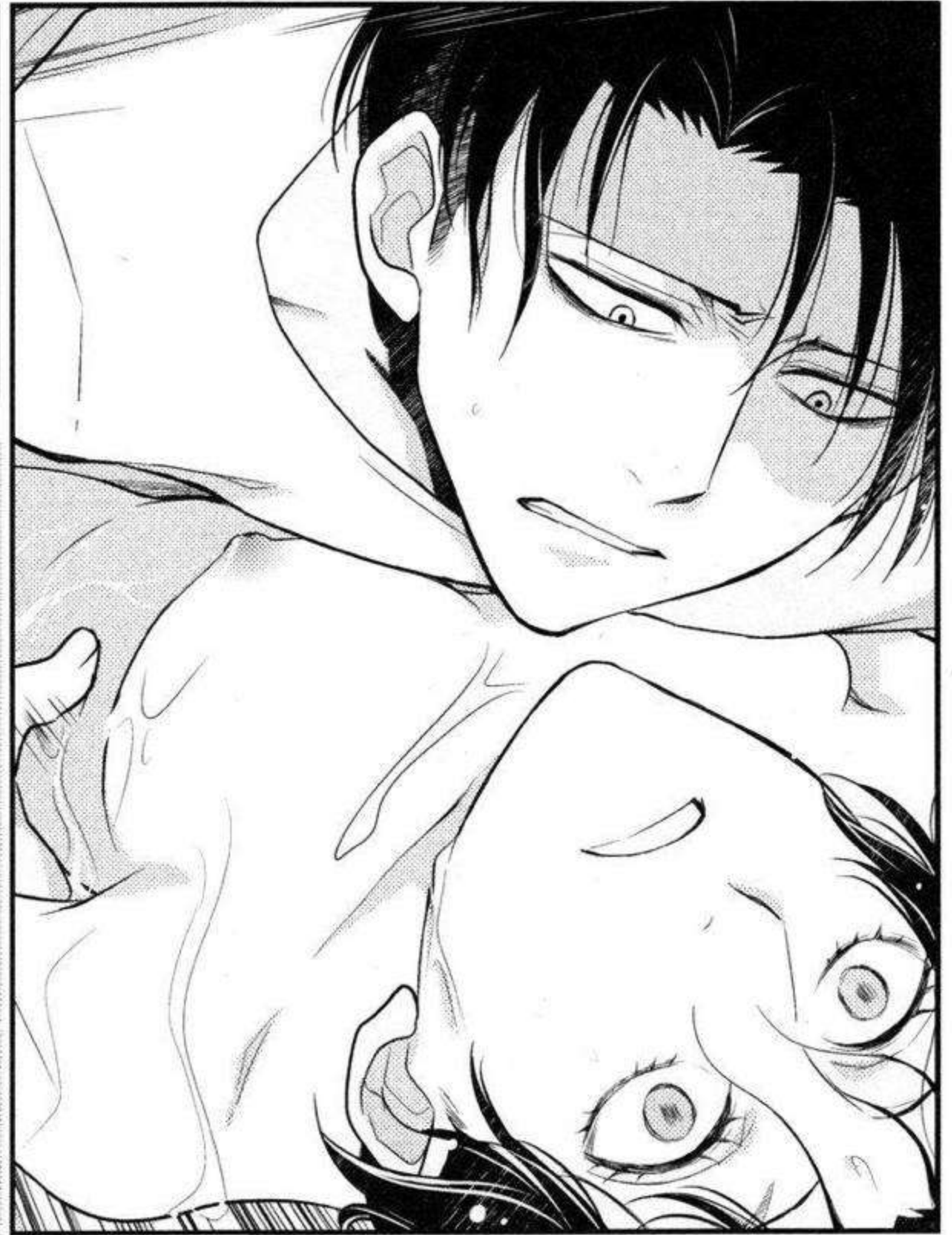


どうして？
なぜ？

変だ

絶対
おかしい





完全に
壊れたか



終わりか



人形抱いてる
みてえだったな

はっ

こいつと寝るのは
悪くなかった



抱いてるときだけは
俺だけを見て

縋り付いて――





見て
欲しかった？



な…んだ？

俺が
こいつに――



ははは

どうして



はははは——

滑稽だ

いつから？



はっ…



ははっ



は…

終わってから
気付く



使ね使
いがえつ
がらだろ
うとし

使後
うろ
か



ハンジよ

お前だな

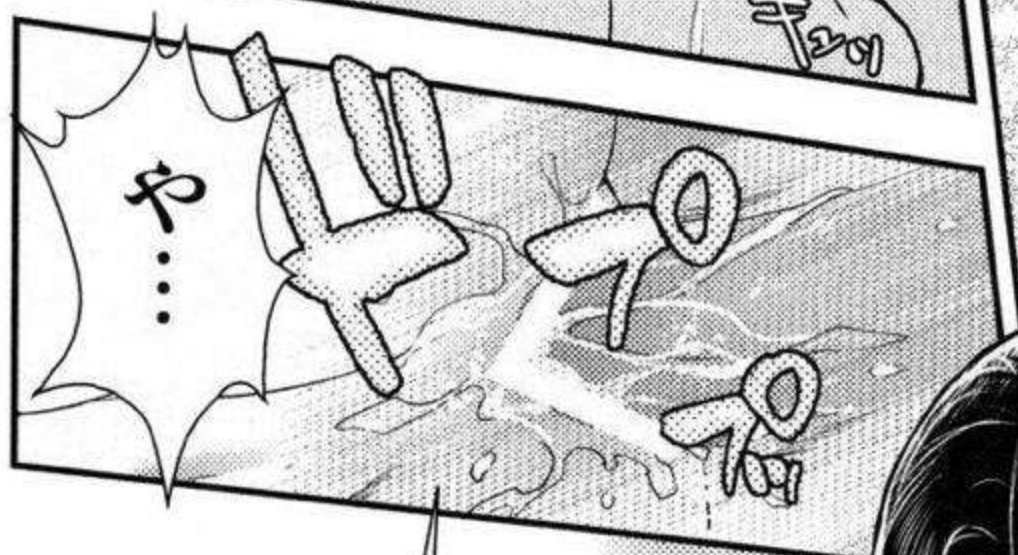
好きにして
いいと言ったのは







リヴァイ…



や…



リヴァイ

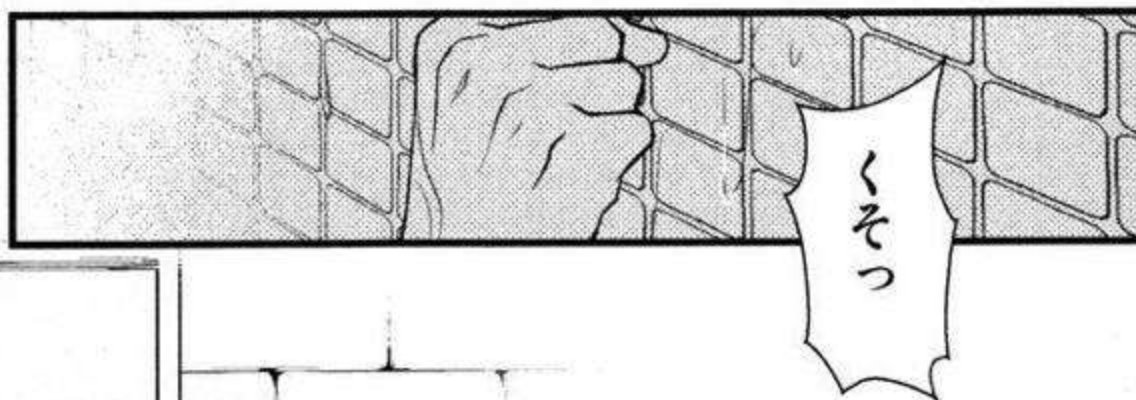
リヴァイ…

やめ…

や…



いやあああああ



匂い
の
ヒールの
コイ



ぐいっ



ああ?



お尻の穴が
好きな変態君



なに？
気持ちいいの？
確かに圧は
肛門の方が高いけど
肛門だよ？

潔癖性の君が
興奮できるの？
私は痛いだけ
だったよ？

あ、男にだけ
直腸に感じちゃう
器官があるよね
リヴァイ挿れたこと
ある？気持ちいい？

ってリヴァイが私に
奉仕されるのとか
乗られるのとか嫌がるの
それに付随するトラウマ的な
何かがあったりするの？



一つくらい
答えてよ

もど

裂けるかと
思ったんだよ
ほんと

もど

まだ
お尻痛い



妙な邪推
するんじゃない

寝てる時まで
見下ろされたく
ねえだけだ

あはは
そんなこと
気にしてたのかい？

人類最強が
人並みに？

うるせえ

そんなのただの
個体差じゃないか

一皮むけば
皆大差ないよ？

——見たこと
あるのかてめえ

あるよ

筋肉も
骨も皆
ほぼ同じ——

ああでもリヴァイは
どう考えても
体格と体重が
釣り合っていないよね

だから強い？
巨人と逆……

やめろ
気味悪い

巨人も変だ

質量と重量が
釣り合わない

オイ

考えないと
考えないと

ハンジ!!!



またね
リヴァイ



考えないと
いけないことが

たくさん
ありすぎる



考えないと



考えないと



それからの暫く
あいつの姿を
見かけなかった





自分が手荒に
食べさせるのと
兵長が普通に
食べさせるのは
同じではないかと!!



…兵長は
人類最強の
兵士ですし…

だからなんだ

その…



貸い
せ
だらう



なかなか
面白いこと
言うじゃねえか



食わ
せて
やる









食わせたぞ



風呂に叩き
込んだから
手伝ってやれ

え、あ
私?

ハンジの部下に
女がいたな

は、はい!



あ、
ああ...

〆〆



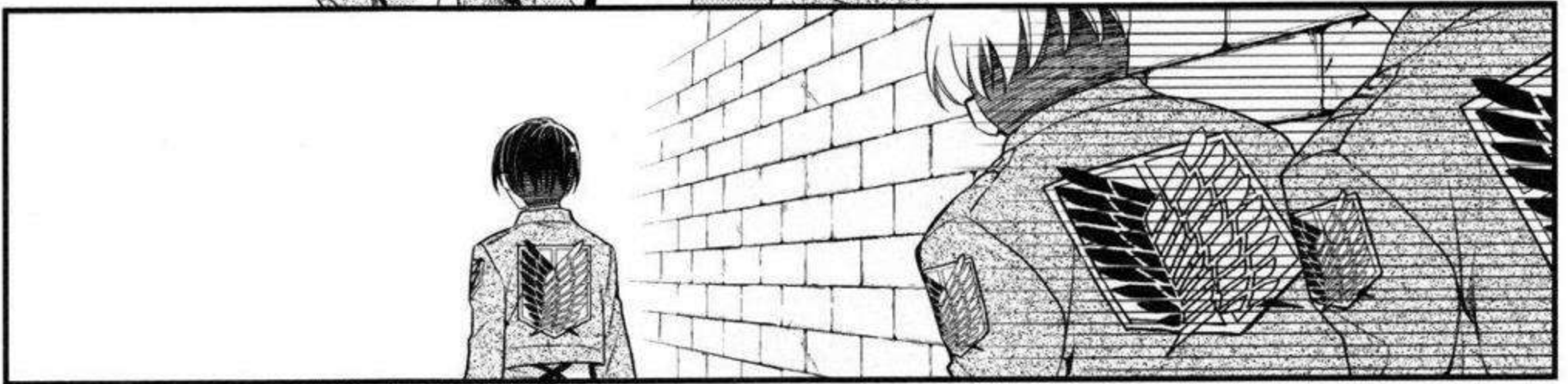
服のままな



風呂に
叩き込んだ...?

え...
え...
え...

...



おそれなくとも
壁外に行つた後
あいつを抱く必要は
ないな



今までとは違う
新しい道を
見つけやがった



走り続ける間
壊れねえだろう



俺はもう
必要ない



リヴァイ
起きてる？



えへへ
入れて
入れて



なんだ
こんな夜中に

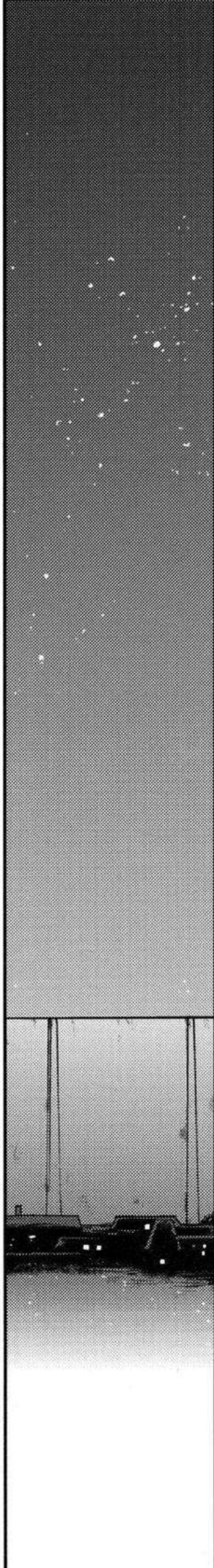


別に何も
いらねえだろ



私なんか
ばつかりな
物が増える
のに

わー
リヴァイの部屋
なんにもないねえ



お前以外は

何しに
来やがった

なにっ
てもちろ
んしに
来たんだ
よ

仕事
終わっ
たし

ちゃん
とお風
呂入
って
きたよ

あの
いか
れた
作戦
立案
書か

—そ
うだ
よ

リヴ
アイ
にも
頼ん
で
お
か
ない
と

私の
獲物
は
削
が
な
い
で
ね

巨人を捕獲
被験体として
生体調査を
行うんだ

あいつらの
全てを切って
開いて暴き出して

丸裸に
してやるのさ

リヴァイ

リヴァイ

さあ
しようよ

とても
いい気分なんだ
リヴァイ



君は普段
ちつとも誘いに
来てくれないし

——ああ
誘われるのか
嬉しいのかい？

——
言ってる



てめえは
本当に
いかれた女だ

あはは
そうだね



まあいいの望み通り
てめえに二、三体
削がずやる

リヴァイ
ほんと!?

ああ
好きなように
いじくり回せ



ハンジのいかれた
作戦立案書は

上層部を
納得させるのに
十分な内容だった

捕獲作戦は
何度も
実行され

相応の
犠牲が出た

それでも
あいつは
止まらなかった

壁外から
戻れば
部屋に籠り

また書類を
書いた

呆れるほどの
枚数を

身を削り
全てを
注ぎ込んで

あいつは
変わった

君は
完璧だ

ずっと
そのまま
いよ





先に死ぬのは
俺の方かな



なんてでも
あげる

君のものに
なるから



口にした言葉は
守るだろう

妙な所で義理堅い
そういう奴だ

他に行く暇も
ねえだろうしな

なら俺が
生きてい
れば

生きてい
る
間は





俺ハ^あ
の^いン
もジ
のは
だ

天に羽ばたくその日まで

Attack on Titan unofficial fanbook no.4

MAMIYA[RIX] PRESENTS

2013.12.29

WEB: <http://rix.vv.cx>

MAIL: mamiya@rix.vv.cx

P[X]V ID = 464880

print: ねこのしっぽ



LevixZoëHans

Attack on Titan
unofficial fanbook no.4

MAMIYA

[RIX] PRESENTS

2013.12.29